

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 3年 3月 10日

公表:令和 3年 3月

事業所名 にじいろMARUCHE

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|---|----|-----|---|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 8 | 0 | 一軒家を使用しているため、部屋が複数あり、スペース的には問題がない。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 6 | 2 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 1 | | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 6 | 0 | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 8 | 0 | 事業所のマルシェとしては、今回初めてのアンケート調査となる。アンケート内容を参考にし、今後に生かしていく。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 8 | 0 | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 8 | 0 | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 8 | 0 | 必ず事業所内数名が参加しており、外部研修も希望があれば参加している。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | 0 | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 7 | 0 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 8 | 0 | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 8 | 0 | 週末イベントとしては、お弁当作りのチラシ配付。平日では音楽活動・サッカー教室等を実施。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 8 | 0 | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8 | 0 | 個別で集中力を高める活動や集団活動を通して他者との交流をはかり、その子の段階にあった無理のないペースで活動を実施。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | 2 | 職員の目に付くスペースに各資料をファイリングし、随時確認が取れるように工夫している。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 7 | 1 | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 8 | 0 | 日々の支援については、業務日誌に記録。 | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 8 | 0 | マルシェにおいては、初回のモニタリングがスタートした段階の為、モニタリングからの情報をもとに今後の活動に繋げたい。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 8 | 0 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 8 | 0 | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 8 | 0 | 少しずつではあるが、学校との連絡を取り始めている。家族からの情報をもとに、学校に確認、連絡調整も始めている。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 8 | 0 | 医療的ケアが必要な児童については、保護者の了承の上、医療機関に確認し、対応をご教示頂いている。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 8 | 0 | 8月オープンだったため、今回が初めての新入生の受け入れ時期に当たる。今後、必要時に確認したいと思う。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 8 | 0 | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 6 | 2 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 6 | 0 | | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 5 | 0 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 8 | 0 | 連絡帳などに記載があったり、何かトラブルが起きた時、その子の顕著な成長がみられるときなどは、送迎時直接または、電話等で可能な限り伝えている。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 8 | 0 | ハッピートーク、その他の発達障害児支援の講演会などの案内をして参加を促した。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 8 | 0 | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 8 | 0 | 保護者からの相談については、状況を色々なスタッフに確認しながら、マルシェ内での様子を説明し、ご家庭での状況と比較しながら助言をしている。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 8 | 0 | イベントで親子クッキングを実施した時に、お母様同士、スタッフとお母様とお話しする機会が持て、今後このような機会を持てたらと感じた。今後積極的に取り組んでいきたい。 | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 7 | 0 | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 8 | 0 | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 8 | 0 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 6 | 2 | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 7 | 1 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 7 | 1 | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 8 | 0 | 虐待防止研修等への参加。研修より学んだ事を参考に対応している。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上 | 7 | 1 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 8 | 0 | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 8 | 0 | | |